

調査・検討の進め方について

1. 評価対象

『アルマ計画』

【文部科学省】

概算要求額 : 11億円

全体計画 : 256億円 (建設費) + 30億円 / 年 (運用費)

国の科学技術政策を総合的かつ計画的に推進する観点から、新たに開始が予定されているアルマ計画 (アタカマ大型ミリ波サブミリ波干渉計の建設及び観測) の評価を行う。

評価においては、アルマ計画について、国際共同プロジェクトであること及び本計画が我が国天文学に占める位置付けにも留意しつつ、その必要性、効率性、有効性等を検討する。

2. 調査・検討項目

評価検討会においては、以下の項目について調査・検討する。

A. 科学技術上の意義

当該研究開発の科学技術上の目的・意義・効果。

B. 社会・経済上の意義

当該研究開発の社会・経済上の目的・意義・効果。

C. 国際関係上の意義

国際社会における貢献・役割分担、外交政策との整合性、及び国益上の意義・効果。

D. 計画の妥当性

目標・期間・資金・体制・人材や安全・環境・文化・倫理面などからの妥当性。

E. 成果、運営、達成度等

投入資源に対する成果、運営の効率性、及び目標の達成度等。評価結果の反映状況の確認等。

ただし、E については、新規研究開発であることから、その内容を考慮。

3. 検討スケジュール

- 9月 11日 (木) 評価専門調査会
評価対象、担当議員・委員、進め方を確認
- 9月 17日 (水) 第 1回評価検討会
・ヒアリング、追加質問と論点候補の抽出
追加質問を回収し府省へ対応を発注
- 10月 1日 (木) 第 2回評価検討会
～ 8日 (水) 追加ヒアリング、論点整理
評価コメントを回収し中間報告原案を作成
- 10月 15日 (水) 評価専門調査会
・中間報告 (案) の検討
- 10月～11月 総合科学技術会議
・中間報告に基づく審議
- } 必要に応じ第 3回評価検討会
- 11月～12月 評価専門調査会
・評価報告書 (案) の検討
- 12月 総合科学技術会議
・評価報告書 (案) に基づく審議・結論